

増や国の経済対策によるものである。

②財産の管理について

公有財産・物品・各基金の記録・管理運営は適切に行われている。

③債権の状況

須崎地区森林組合への貸付額1千900万円に対し、平成25年度返済額190万円（総額1千710万円）で決算年度末残高は1千900万円である。学資貸付金は平成25年度貸付金1千17万円、返済額は701万円、決算年度末現在額は4千799万5千円である。貸付金は、100%徴収されている。

④基金の状況

基金（基準日平成26年3月31日）は、9億2千320万2千円積立し、1千569万9千円取崩し、決算年度末の残高は62億4千759万8千円で平成25年度末に比べ9億750万2千円増加している。

⑤地方債の状況

平成25年度発行額は、8億616万7千円で償還金は6億5千614万9千円（繰上償還含む）である。決

算年度末残高は、59億5千563万6千円で平成24年度末に比べ1億5千1万8千円増加している。

⑥収入未済額の状況

収入未済額は、町税2千838万3千24円、養護老人ホーム入所負担金84万8千100円、保育料・幼稚園授業料等3万1千370円、教員住宅使用料35万円、学校給食費67万5千160円の合計3千287万654円で平成24年度末より13万3千752円減少している。

特別会計

国民健康保険事業特別会計

平成25年度末加入世帯数は1千111世帯で総世帯数に占める割合は40.6%となっている。被保険者数は1千823人で総人口に占める割合は28.8%である。医療費一人当たり平均額は32万6千985円で増加傾向にある。国税に対する徴収率は90.44%、その内訳は現年課税分96.86%、滞納繰

越分35.61%となっている。直営診療施設勘定特別会計

院外処方への移行2年目で医薬材料費が大幅に減少している。受診者数は、姫野々診療所で延べ1万2千922人、杉ノ川診療所で延べ7千648人。合計で延べ2万570人と毎年減少傾向が続いている。

簡易水道事業特別会計

使用料について74万7千100円の未収金がある。

生活環境施設整備特別会計

本年度の浄化槽設置基数は33基で減少傾向にある。使用料で422万2千円の未収金がある。

介護保険事業特別会計

保険料について45万6千815円の未収金がある。

後期高齢者医療特別会計

歳出の主な内訳は、総務費50万5千606円、後期高齢者医療広域連合納付金8千482万1千404円である。

財政健全化判断比率
基準値を下回り「健全」

平成25年度決算における財政健全化判断及び公営企業の経営健全化判断は、いずれも国の定めた健全化基準を大きく下回っており、赤字や資金不足は生じていない。

財政健全化判断

指 標	健全化判断率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	△2.1%	25.0%
将来負担比率	負担なし	350.0%

経営健全化判断

会 計 名	資金不足率	健全化基準
簡易水道事業	不足なし	20.0%
生活環境施設整備	不足なし	20.0%

標準財政規模

補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。25年度は37億3千884万2千円。

実質赤字比率

普通会計の標準財政規模に対する赤字の割合

連結実質赤字比率

町の全ての会計の標準財政規模に対する赤字の割合

実質公債比率

町の標準財政規模に占める借金返済額の割合

将来負担比率

町の標準財政規模に対する将来支払う負債の比率